

きずな

第13号

平成22年6月20日

今月の顔

石川恵子さん



彼女にあったことありますか？国体おもてなしの会で、4月から始まった、挨拶の手話講座の講師をしています。これまでに900人の方の前で、手話の講座

を実施してきました。石川さんは誰にも明るく接してくれるので、私たちも手話が身近に感じられるようになりました。大網白里町の皆さんが、挨拶を手話で出来るようになるとすてきですね。これからも手話講座、よろしく願いいたします。

オープンガーデン はじめましょう！

花のある優しいまちづくりを目指して、
流山や長野県小布施町に学んで
個性ある大網白里町にしましょう

あなたのご自慢のお庭 公開しませんか？

丹精込めて育てたお花がきれいに咲いた時、誰かに観て貰いたい！そう思ったことありませんか？又、散歩途中などですてきなお庭を発見して、垣根越してでなく間近で観たい！そう思ったこともあるでしょう。

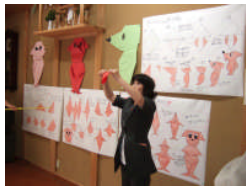
今ちょっと話題になっている「オープンガーデン」の実現化に向けてこの町も動き出そうとしています。

あなたも「オープンガーデン」の スタッフになりませんか？

「オープンガーデン」の企画から一緒に考えて活動してくれるスタッフを募集しています。お花の好きな方、お花に詳しい方、ご自身のお庭を公開して下さる方、日本庭園をお持ちの方、またそれらの情報をお持ちの方など、企画から参画出来る方を募集しています。先人を視察したり、大網白里町独自の展開方法を一緒に考えましょう。

折り紙“チーバくん”で 国体を盛り上げ！

6月11日



国体おもてなしの会では、大網白里町社会福祉協議会の高齢者福祉活動「ゆうゆうサロン浜宿」で折り紙を取り上げ“チーバくん”に挑戦してもらった。

指導者は聴覚障害者の廣田さん、サポーターとして‘歩みの会’と一般ボランティア計6名が加わり、模造



紙に書かれた折り方の説明を受けながら、25名が小グループごとに手と頭を使い格闘し、完成品を手にも満足気であった。(後藤正義)



創立一周年記念式典

5月16日

お陰様で、盛況にお祝いできました。



ソプラノ歌手の安藤園子さん

町長を始め町議員、県・町職とたくさんの方が、お祝いに駆けつけてくださいました。

大網白里まちづくりサポートセンター



武井實さんの文化協会情報

文化のこころ

これまで主に町の歴史的な文化遺産について代表的なものを取り上げてきた。しかし、文化という言葉をもちいるとき、「文化」が意味するものは極めて重厚・多層なものである。総じていうと「人間が社会の成員として獲得する振る舞いの複合された総体である」といえる。筆者がこの町に根を下ろした四十年前頃、「この町には文化がない」という言葉をよく耳にした。この場合の「文化」とは、多分、近代化とか合理性の不足を意味するものであったと思われる。このように文化の定義は複雑であり、人類文化でいえば「人間と自然や動物の差異を説明するための概念」となる。抑も文化の外国語はカルチャーであるが、これは「耕す」、「培養する」、「教化する」などの意味である。従って、人間の文明や精神発達面から観ると、文化は「教養」と言い換えることもできる。以上、制限された文字数で文化を語ることは難しいが、概して言えることは人個々の価値観の集合体である。つまり、まちサポに限りなく他種類の市民活動グループが集合し、それら総てが相互に連携できたとき、町独自の文化が形成され、同時によい町づくりが完結することにもなるでしょう。(文化協会・武井 實)

まちサポ協働語録

三澤清隆

《公共交通に関連してよく使われる用語》

その1

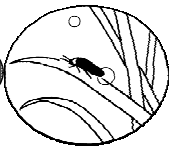


モータリゼーションの進展や少子高齢化、過疎化の進行、ライフスタイルの変化等に伴い、交通空白地帯住民の移動がますます困難になってきました。まちづくりと連携した公共交通機関のあり方等の講演会では、普段なじみのない専門用語がしばしば大切な場面で使われています。

たとえば、「地域の自立発展のためのモビリティ確保に向けた検討」でのモビリティは、「人々の移動の容易性(移動のしやすさ)」のことで、もともと mobility は、可動性、移動性、流動性を意味します。

また、これに連動して「モビリティ・マネジメント」という言葉も使われています。すなわち「一人一人の移動を意味するとともに、地域全体の交通流道を表す言葉」として用いられています。

まちサポ休壇



五月晴れ心にほかが里の川

露晴れてゆり一面の山の里

潮模様夕日にはえて夏浴衣

潮模様夕日にはえて夏浴衣

大竹 浜 ひろこ

編集後記

先日、議会の傍聴して初めてまちサポの存在を知ったと立ち寄ってくれた方が、ご寄付をくださるといううれしい出来事がありました。本当にまちサポは皆様に守られていると実感した瞬間でした。ありがとう。

★大網、地下工場跡
戦時中日立の航空機工場として、作られた防空壕で、子どもや朝鮮人による強制労働で掘られたところです。

六月十七日、快晴。

★館山海軍航空隊の見学。
昭和5年に実戦航空部隊としてつくられたところで、現在は海上自衛隊館山航空基地として使われています。見学時間も、トイレに行くのも厳重でしたが、当時の様子を知ることが出来、また参加した方も歩きながら当時のことを話したりと有意義な時間を過ごすことが出来ました。平和のありがたさをつくづく感じた一日でした。

★海軍航空隊赤山地下壕跡の見学。

戦時中海軍の防空壕として使用されていたところ。発電所跡があったり、病院や電信室として使われていたとの証言が有り、館山でも代表となる戦争遺跡です。

五月十九日、快晴。

かけました。後日、大網にも飛行機の部品を作っていた防空壕の跡があるという事で、こちらにも見学に行きました。



見て来ました!

戦争の跡



戦争体験語り部の会では、普段ご自身の体験談をお話して戦争の悲惨さを皆様に伝える活動をしています。たまには自分たちも戦跡を視察して、当時を語るのもいいのではと、館山に出かけました。